

京都アスニー  
ゴールデン・エイジ・アカデミー

# 双京 構想

連続講座

※双京構想とは：日本の大切な皇室の弥栄、そしてわが国の伝統を守り、文化を発展させるため、皇室の方々に京都にもお住まいいただき、政治・経済の首都である「東京」と、歴史・文化の首都である「京都」の双方で、わが国の都としての機能を果たしていくという構想。

京都は千年以上もの長きにわたり都として栄え、雅な宮中文化が生まれ、今なおさまざまな形で市民の生活の中に息づくとともに、東京の皇居以外に唯一現役の御所があります。こうした日本の歴史と皇室と京都との関わりを踏まえ、京都では、皇室の弥栄を願う「双京構想※」の実現に取り組んでいます。

この度、双京構想推進検討会議(京都府 京都市 京都商工会議所)では京都アスニーとの連携の下、4回にわたる連続講座を開催します。

平成29年

8月25日(金)

京都文化の中の宮廷文化・王朝文化

9月22日(金)

光格天皇の事績と絵巻

10月20日(金)

京都御所に見る平安文学  
—紫宸殿と清涼殿—

平成30年

2月9日(金)

『日出新聞』記者 金子静枝と  
明治時代の京都

—「新発見」の遺稿『日本刺繍志』を中心に—

京都市生涯学習総合センター

会場

京都アスニー 〈4階ホール〉

3階 第8研修室で同時中継

(中京区丸太町通七本末西入)

時間

各回とも

午前10時  
～11時30分

(午前9時30分開場)

対象

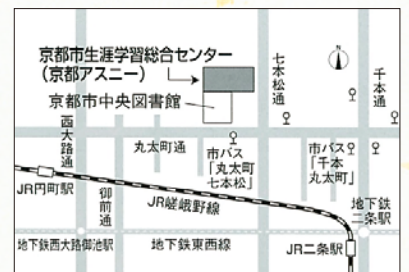
どなたでも  
ご参加いただけます

定員

600名(先着順)

事前申込不要  
直接会場へお越しください。

※アスニー山科でも同時中継  
定員100名(先着順)



参加料  
無料

事前申込  
不要

創生都



平成29年

## 8月25日(金)

### 京都文化の中の 宮廷文化・王朝文化

京都造形芸術大学教授

## 五島 邦治



現代では「宮廷文化」というのは古めかしい儀式の中の事物のようになっています。たとえば、貴族の着た束帯や十二単は、絵画や映像では見られますが、一般には親しまれていないとはいえません。私たちが伝統的と考える着物とはずいぶん違います。着物の束帯・十二単とはどんな関係にあるのでしょうか。京都に残された多くの文化は、宮廷文化に根源をもっているものも多いのですが、外見上はまったく違ったものになっています。この講演では、京都文化の中のどの部分に宮廷文化が残り、どんな形で伝わっているのかを、貴族から都市市民へと文化が受け継がれていく視点から、室町時代の日記や絵画資料を使ってお話したいと思います。

平成29年

## 10月20日(金)

### 京都御所に見る 平安文学

—紫宸殿と清涼殿—

京都学園大学教授

## 山本 淳子



現在の京都御所は幕末に建てられたもので、平安時代の建造物ではなく、位置も平安京内裏からは約1.7キロ離れています。しかし京都御所には、平安京や平安文学を幻想させる、確かなよすががあります。紫宸殿とその南庭、清涼殿とその前庭のたたずまいなどがそれです。これらを平安朝様式に従い復古造営することに貢献したのは、近世の研究者・裏松固禅でした。講座では、固禅の人生について、また現在の京都御所で私たちが垣間見ることのできる平安文学の幾つかの場面について、ご紹介します。

平成29年

## 9月22日(金)

### 光格天皇の 事績と絵巻

京都産業大学名誉教授

## 所 功



光格天皇(1771~1840)は、閑院宮家に生まれ、9歳で急に皇位を継承してから在位38年間も、譲位してから崩御まで23年間も、多大な治績をあげて、朝廷の権威を高められました。在位中、火災により3年近く仮御所とした聖護院から新造の内裏へ還幸された時の行列や、47歳で譲位のため内裏から上皇用の仙洞御所へ遷幸された行列を、克明に描いた絵巻があります。

その行列に加えられた「鈴鑓」「大刀契」とは何か。その還幸を市内で見た本居宣長の長歌や、まもなく出版された絵図などにより、庶民との交流も紹介します。

平成30年

## 2月9日(金)

### 『日出新聞』記者 金子静枝と 明治時代の京都

—「新発見」の遺稿

『日本刺繍志』を中心に—

同志社大学名誉教授

## 竹居 明男



金子静枝(1851~1909)は、今やその名前すら忘れられつつありますが、明治時代の京都の美術工芸・産業界で八面六臂の活躍をした新聞記者です。

彼の遺したスクラップ・ブックの一部は、先年紹介しましたが、このたび新たに「出現」した遺稿『日本刺繍志』の内容・意義を検討しつつ、改めて彼の多彩な足跡と活躍をたどり、「文化の中心地」京都の未来を考える手掛かりにしたいと思います。

(敬称略)

お問合せ

京都市総合企画局総合政策室

TEL (075)222-3375

FAX (075)212-2902